

令和2年度第1回茨城県男女共同参画審議会

1 日 時

令和2年8月7日（金）10時00分～12時00分

2 場 所

茨城県市町村会館2階 201会議室

3 出席者（敬称略，五十音順）

阿部 重典（(株)茨城放送 代表取締役社長）
安藤 隆子（茨城県女性団体連盟会長）
飯田 昭子（連合茨城女性委員会副委員長）
長田 佳世（茨城県産婦人科医会理事）
清山 玲（茨城大学人文社会科学部教授）
高輪 忍（(株)常陽銀行 執行役員人事部長）
中島 美那子（茨城キリスト教大学文学部教授）
中村 香代（(株)わかさキャリアコンサルティング代表取締役）
仲山 郁夫（NPO法人ウィメンズネット「らいず」会員）
俵田 憲諭（茨城労働局雇用環境・均等室長）
山形 芙美（日立商工会議所女性起業家交流グループみゅーず net 会長）
横田 祥（(有)横田農場 米粉スイーツ加工部長）

4 内 容

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 委員長・副委員長の選出
- (4) 諮問
- (5) 議事
 - ①茨城県男女共同参画基本計画（第3次）の概要及び進捗状況について
 - ②新しい茨城県男女共同参画基本計画の骨子案について
- (6) 閉会

<配布資料>

- 資料1 茨城県男女共同参画基本計画（第3次）の概要及び進捗状況について
資料2 男女共同参画を取り巻く社会的背景
資料3 第4次茨城県男女共同参画基本計画の策定方針及び骨子案について
資料4 第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方（素案）【案】概要
資料5 県総合計画
資料6 清山委員提供資料：新型コロナ感染拡大の労働市場への影響

5 結 果

- ・開会にあたり、茨城県県民生活環境部 矢口部長が挨拶を行った。
- ・委員長に清山委員，副委員長に阿部委員が互選により選出された。
- ・矢口部長から清山委員長へ，新しい茨城県男女共同参画基本計画の策定について意見を伺いたい旨の諮問書が交付された。
- ・議事について，事務局から説明を行った後，議論が行われた。主な意見は下記のとおり。

<主な意見>

※記載は発言順

- DVについて、相談しやすい状況を作ることが必要。
- DV被害にあっている方は、他者に相談するのが苦手な身内に頼れないことも多い。LINEの活用など、相談のしやすさや多様なアプローチが必要。
- 「性的少数者」という表現は果たして適切か。「LGBT～」は当事者だけになってしまうのに対して、自分事として捉える「SOGI※」という用語もある。

※SOGI（ソジ）

Sexual Orientation & Gender Identity の略、「性的指向と性自認」のこと。

- ジェンダー平等，SDGsの要素を盛り込んで欲しい。
- 希望している人が子供を産み育てられる社会づくりが必要。男性の育児参加も大事。
- がん罹患率は、「AYA世代※」では女性の方が高い。子宮頸がんなど、予防接種に関する教育を盛り込んでほしい。

※AYA（あや）世代

15～39歳の思春期・若年成人の呼称。AYAは、英語の「Adolescent and Young Adult：思春期と若年成人」

- 男女共同参画とは、いかに男性に理解をしてもらうかが重要。男性も参加しやすいようにするには、「女性」に特化しない方が良い。世代間の意識のギャップを埋めていく必要もある。
- 総花的なものは刺さりにくい。働く女性のライフステージごとに施策を紐づけるとわかりやすい。
- 計画は一般の人が見て分かりやすいもの、男女共同参画の必要性が実感できるようなもの、困っている人が身近に感じられるようなものにしないとなかなか理解してもらえないのではないか。
- 親の介護の問題は、女性だけに負担を強いられるのではなくて、家族で考えていけるような社会づくりできるとよい。